

# カリキュラム紹介

(2022年度カリキュラム)2022年度入学生より適用予定。

赤=必修科目 黒=選択科目 (◆=被服学コース必修科目 ◇=被服学コース選択必修科目)  
 (●=ファッション環境マネジメントコース必修科目 ○=ファッション環境マネジメントコース選択必修科目)  
 ●=1級衣料管理士資格取得のための必修科目 ■=中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭)資格取得に必要な科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
学びのステップ	<b>被服についての基礎力を養成</b> 「被服材料学」「色彩学」「被服体型学」などの専門教育科目を通して、被服分野全般にわたる基礎力を養います。	<b>コースごとに専門性を意識</b> 6つの領域(素材・材料/服飾造形/情報・生産/ビジネス/ビジュアルコミュニケーション/カルチャー)を意識しつつ、被服学コース、ファッション環境マネジメントコースに分かれて、理解力を高めていきます。	<b>展開力を養成</b> 各領域を基礎とした展開力を養成します。被服学コースでは「創成工房」、ファッション環境マネジメントコースでは「ゼミナールⅠ」を通して、調査分析・企画・デザイン・制作・プレゼンテーションまでを総合的に学びます。	<b>卒業研究</b> 卒業研究に取り組み、これまでの学びの総仕上げを行います。
	学部共通科目 家庭経営学概論(含家庭経済学) ■ 住居学概論 ■ ライフデザイン学概論	家族関係論 ■ 食物学概論 ■ 児童学概論 環境科学概論		
専門教育科目	アパレル概論 ■ 色彩学 ■ 西洋服飾文化史 ■ 日本服飾文化史 ■ 衣生活と化学 被服材料学 ● ■ 和服製作Ⅰ ■ アパレル製作Ⅰ ● ■ 被服体型学 ●		◆創成工房 ●ゼミナールⅠ	◆総合ゼミナール ●ゼミナールⅡ 卒業研究
			<b>素材・材料領域</b> ◇被服材料学実験 ● ■ ◇被服管理学 ● ■ ◇界面科学 ● ■ ○◇繊維科学 ● ■ ◇染色加工学 ● ■ ◇機能性被服材料 ○◇繊維製品消費科学 ●	◇工芸染色 ◇インテリア材料学 ◇繊維科学実験 ● ■ ○◇品質管理 ◇テキスタイル分析 ◇衣環境学 ● ◇ケーススタディ
	◇服飾工芸 ■	<b>服飾造形領域</b> ◆被服構成学 ◇パターン設計 ◇和服製作Ⅱ ◇和服製作Ⅲ アパレル製作Ⅱ	立体裁断 ■ ◇パターンとデザイン アパレルCAD	
	○◇ファッション統計学	<b>情報・生産領域</b> ○アパレル企画Ⅰ ● ○アパレル企画Ⅱ	○◇消費生活論 ● ○◇消費者調査法 ○◇アパレル設計・生産Ⅰ ◇アパレル設計・生産Ⅱ ◇テキスタイルアドバイザー実習 ●	
	○◇ファッションビジネス	<b>ビジネス領域</b> ●ファッションマーケティングⅠ ○ファッション販売論 ○グローバルコミュニケーション ファイナンス論	○ファッションマーケティングⅡ ○ブランドマネジメント ○流通マネジメント論 ○ファッションリテイリング ○コンプライアンス論 ○ビジュアル・マーチャンダイジング ○Eコマース論 グローバルマネジメント マーケティングコミュニケーション WEBマーケティング ○インターンシップ実習	
		<b>ビジュアルコミュニケーション領域</b> ○◇基礎デザイン ○◇ファッションデザイン ○コンピュータグラフィックスⅠ ○コンピュータグラフィックスⅡ	ファッショングラフィックス プロダクトデザイン スペースデザイン	
		<b>カルチャー領域</b> ○衣生活文化論 ○◇被服心理学 ○ポップカルチャーと衣服 ○ファッション社会論 ◇服飾美学 ファッションメディア論	○ファッションコーディネート論 世界のファッション 舞台衣装論 伝統文化論 エンターテインメント論	
		<b>被服学コース</b> 環境マネジメントコース		